



宜野湾市立志真志小学校 学校だより

『志真志っ子』 令和5年6月22日号



〈お願い〉「徒歩登校」をしよう！ 立哨当番への協力をお願いします！

今日は、5年生が環境の学習、3年生がリコーダーの学習、でそれぞれ外部講師をお招きした授業を行いました。昨日の琉球大学教授の山口剛史先生に引き続き、いつもと違う専門の先生とつながった授業は、子ども達にとって大きな学びがあったと思います。これからも、地域人材とつながり、社会に開かれた教育課程を実践していきます。

社会に開かれた教育課程の実践

5年生は、3～4校時に、本校多目的室で、「沖縄地域環境センターの出前講座」を開催しました。日々の生活の中のゴミをどのように処分したりリサイクルしたら良いのか、自分事として考えていきたいですね。



↑講師の話を聞く5年生

3年生は、リコーダーの導入の授業として、佐渡山安信先生をお招きして、リコーダーの授業開きを行いました。音楽専門の先生から教えて頂き、楽しみながら学習していました。



↑講師の説明を聞いて練習する3年生

6年を中心に自治的な学校を目指して

本校の生活面の課題の一つに、「廊下を走る児童が多い」ことが挙げられます。6年国語の学習「私たちにできること」で、生活委員会児童がその課題を捉えていたことから、今週から休み時間に実態調査と廊下を走らない呼びかけ、給食時間の放送を始めています。

廊下を走っていた人数6/21調べでは、1年生15人、2年生9人、3年生30人、4年生69人、5年生18人、6年生2人、となっています。(それぞれ10分間の人数)

大きなケガや事故が起きる前に、一人一人の心がけて未然防止できるように取り組んでいきたいです。

今回の6年生の取組をきっかけに「自分達の安全は自分達で守る!」「自分達の学校は自分達で創る!」を合い言葉に、高学年中心の自治的な学校づくりを推進したいです。



↑調べた結果を放送する6年生